

No.	題名 上映時間	内容	主な人権課題
DN 212	部落の心を伝えたいシリーズ 第 32 巻 ネット差別を許すな!	主な対象：一般 「形を変えた部落差別」 ネット上で部落/部落出身者がさらされる。無法地帯化するネット上の差別の現実を差別はがきを送られた当事者自らが語る。「寝た子」はネットで起こされる」 無知・無理解・無関心な人ほど危ない! ネット社会の危険性と構造を解き明かし、行政、企業、個人でのネット対策を提案。 「ピーカーの泥」 人間の心の奥底にある偏見、差別。「ピーカーの底に沈殿した泥」に例え、取り除く人権教育の必要性を訴える。	同和問題 (部落差別) インターネット上での差別
	28 分間 字幕：○ 2021 年購入	2019 年 企画・製作：東映株式会社 教育映像部	
DN 213	レインボーストーリーズ LGBTs と社会 ①職場 ～声に出せないハラスメント～	主な対象：一般 社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs 当事者を傷つけ、勤労意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難やトイレ問題、情報管理の甘さから起こる無自覚なアウティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示した作品です。	LGBTs ハラスメント
	25 分間 字幕：○ 2022 年購入	2022 年 企画・制作・発売 株式会社 サン・エデュケーション	
DN 214	レインボーストーリーズ LGBTs と社会 ②家族 ～自分の子どもが当事者 だったら～	主な対象：一般 同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTs の人々は数多くいます。子どもからカミングアウトを受けた場合、親は前向きに受け入れられるのか。この明暗を分けるのは、わが子との関係性、性的指向や性自認の多様性への理解、そしてLGBTs が身近に存在するというリアリティではないでしょうか。この作品には、性の多様性に関して実感を持った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿が描かれています。	LGBTs 家族
	21 分間 字幕：○ 2022 年購入	2022 年 企画・制作・発売 株式会社 サン・エデュケーション	
DN 215	レインボーストーリーズ LGBTs と社会 ③公共機関 ～誰もが安心して 相談できる窓口へ～	主な対象：一般 LGBT の人々が福祉サービスを利用するとき、性的指向や性自認に関して対応する担当者の理解の欠如や知識の不足から、「相談しづらい」「意図せずカミングアウトを強要させられる」「発言に傷つく」といったトラブルが起こっています。この作品では、そうした具体例を描きながら、LGBTs の人々を含む誰もが安心して利用できる公的施設の対応を考えます。また、公的施設のみならず、LGBTs の人々への接客や応対を実践的に学びたい企業や団体などでも活用できます。	LGBTs 公共機関 公共サービス
	22 分間 字幕：○ 2022 年購入	2022 年 企画・制作・発売 株式会社 サン・エデュケーション	
DN 216	レインボーストーリーズ LGBTs と社会 ④地域社会 ～ありのまままで過ごせる コミュニティ～	主な対象：一般 地域社会においては、男女の役割規範やその価値観が根強く残っていることも多く、「まだ結婚しないの?」といった一見したところ何気ない一言がLGBTs の人々を傷つけてしまうこともあります。この作品では、トランスジェンダーの登場人物を中心に誰もが地域社会の一員として、居心地よく過ごすことができるための様々な地域の取り組みの工夫を描きます。「自分の暮らす街にLGBTQ の人はいない」と考えがちな地域の中において、無意識の差別をしていないかを考えさせる作品です。	LGBTs 地域社会
	28 分間 字幕：○ 2022 年購入	2022 年 企画・制作・発売 株式会社 サン・エデュケーション	

No.	題名 上映時間	内容	主な人権課題
DN 217	日頃の言動から考える 職場のハラスメント	<p>主な対象：一般</p> <p>職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながる場合があります。誰もがハラスメントの被害者にも加害者にもなり得るのです。ハラスメントを防ぐためには、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。</p> <p>職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説し、ハラスメントが起こりにくい職場環境作りについて自分事として考えることができる作品です。</p>	ハラスメント
		29 分間 字幕：○ 2022 年購入	
DN 218	夕焼け	<p>主な対象：一般</p> <p>相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。</p> <p>主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族でするのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。</p> <p>ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現を減すことを目指して制作された作品です。</p>	ケアラー ヤング ケアラー
		35 分間 字幕：○ 2022 年購入	
DN 219	一瞬の雨	<p>主な対象：一般</p> <p>非正規雇用の単身世帯、母子家庭、学生の生活苦は、コロナ感染拡大によって、厳しさを増しました。しかし、生活保護申請を始め、公的支援や民間支援団体へ救済の声を上げることをためらう人たちは少なくありません。この作品は、救済を求めることへの抵抗や恥ずかしさをつくっているものは、何なのかをみつめ、だれもはじきだされない社会をつくるために、いま私たちに何が求められているのかを改めて問い直す作品です。</p>	非正規雇用 コロナ禍 生活保護 ホームレス
		28 分間 字幕：○ 2022 年購入	
DN 220	私たち 一人ひとりができること ～当事者意識をもって考える コロナ差別～	<p>主な対象：一般</p> <p>新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染への不安から、感染した方への誹謗・中傷や、特定の職業につく人々への不当な差別などの、いわゆる「コロナ差別」が問題となり、各自治体でコロナ差別解消に向けた様々な取り組みがおこなわれています。この作品は、「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけばよいのかを学べる、ドラマ形式の作品です。</p>	コロナ差別
		26 分間 字幕：○ 2022 年購入	
DN 221	ハチドリの一としずく わたしにできること	<p>主な対象：幼児～全年代</p> <p>南米アンデス地方の先住民に伝わる小さなお話をもとに、地球温暖化という大きな問題に対し、私たちひとりひとりに何ができるのか、何をするのかを問いかける作品です。</p>	環境問題
		19 分間 字幕：○ 2022 年購入	

No.	題名 上映時間	内容	主な人権課題
DN 222	いじめなんか、いらない!! 東日本大震災から、 私たちは学んだ	<p>主な対象：中学生</p> <p>東日本大震災の被害は、住宅や商店ばかりでなく、学校にも押し寄せました。明日も続くと思っていた学校生活、いつでも会えると思っていた友だちの姿が一瞬にして奪われてしまう…。</p> <p>この作品は被災した中学校、変わり果てた町の姿、大人。子どもたちのコメントを中学生たちが視聴し、いじめが、いかに、いまの生活やいのちのありがたさを忘れて起きているかを自覚していく姿を描いたものです。</p>	いじめ 自然災害
	15 分間	2011 年 企画・制作：フォア・ザ・ワン・プロジェクト	
	2022 年購入		
DN 223	シリーズ・人権を考える 考えてみよう差別の歴史⑥ 戦後の部落問題と さまざまな差別	<p>主な対象：中学生以上・一般</p> <p>近年、新しい資料の発見や歴史資料の見直しによって、学校の社会科教科書では、差別の歴史を史実として知るといった客観的な視点が取り上げられるようになりました。しかし多くの教科書には、身分制社会成立の中で、差別意識がどのようにして生じたのかという歴史的な記述はあまりありません。</p> <p>今なお、偏見による根深い差別意識。根拠のない部落差別、ハンセン病患者などへの無知から生まれて差別、障がいのある人々の人権問題。こうした現代にも残る様々な問題をふまえた上で、差別の歴史を掘り下げ、背景にある問題に目を向けることが大切であると考えて作られた作品です。</p> <p>この作品は、学校の社会科、歴史教科書に準拠しながらも、それだけにはとどまらず、新たな史実や新しい歴史的な解釈を取り上げ、「差別の歴史」を深くたどり、過去にどのような差別が、どのようにして生まれたのかを考え、「人権尊重とは何か」を考えられる作品です。</p>	同和問題 (部落差別)
	24 分間	2021 年 制作・著作：株式会社 映学社	
	2022 年購入		
DN 224	ことばの暴力 ～心を傷つけたひと言～	<p>主な対象：小学校高学年</p> <p>私たちにとって当たり前の存在である言葉。その言葉の大切さと、使い次第でことばが人を傷つける刃物になってしまうことを、少女美羽と美羽の家族、美羽の友達との何気ない日常をとおして理解してもらい、言葉の力、使い方をもう一度考えてもらうきっかけになることを目的に制作された作品です。</p>	いじめ
	20 分間	2014 年 企画・制作：鹿児島文化企画	
	2022 年購入		
DN 225	許すな「えせ同和行為」 ～あなたの会社を不当な 要求から守ろう～ 経済産業省中小企業庁 委託事業	<p>主な対象：企業</p> <p>「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。</p> <p>えせ同和行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害するものです。</p> <p>この DVD では、えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の主な事例を具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。</p>	同和問題 (部落差別)
	36 分間	企画：経済産業省中小企業庁 公益財団法人 人権教育啓発推進センター 制作：東映株式会社	
	2022 年寄贈		
DN 226	今企業に求められる 「ビジネスと人権」への 対応	<p>主な対象：企業</p> <p>今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。この DVD では、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマや CG、ナビゲーターにより解説などで分かりやすく紹介しています。</p>	ビジネスと人権
	36 分間	企画：法務省人権擁護局、公益財団法人 人権教育啓発推進センター 制作：東映株式会社	
	2023 年寄贈		

No.	題名 上映時間	内容	主な人権課題	
DN 227	シリーズ映像でみる人権の歴史 第9巻 芸能と差別 —文化を生み育てた人々— 2 タイトル収録 [小学生版][中学生版] [解説・指導の手引き・ 資料類付]	主な対象:小学生版・中学生版・一般 日本の伝統的な芸能である能や狂言、歌舞伎、文楽、舞踊、漫才、落語、講談、獅子舞、猿回し、曲芸などなど…。それらはいったいどのようにして生み出され、今に伝わってきたのでしょうか。 室町時代から江戸後期に至るまでの文かを取り上げつつ、現代にも伝わる徳島県の「門付け芸」や富山県の「おわら風の盆」などを実際に取材し、消えかかった芸能を保存・継承してきた方々へのインタビューを取り入れ、いかに芸能が差別を乗り越えて支援した民衆によって支えられ発展し、現在まで継承されているかを学ぶことができます。	同和問題 (部落差別)	
	20 分間	字幕:○		2022 年企画・製作
	2023 年購入			東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部
DN 228	シリーズ映像でみる人権の歴史 第10巻 差別のない社会へ —私たちはどう生きるか— [解説・指導の手引き・ 資料類付]	主な対象:小学生・中学生以上 子どもたちが直面したいじめをきっかけに、実際に4人のゲストティーチャーを招いたオンライン学習を通じて、子どもたちが社会にある様々な差別に気づき、自分自身を見つめ直し、よりよい生き方をめざす姿を描いています。子どもたちに、差別をゆるさない生き方はどうあるべきか、現代社会に残る差別を解決していくために自分は何ができるかを考えさせるドラマ形式の教材です。	同和問題 (部落差別)	
	20 分間	字幕:○		2022 年企画・製作
	2023 年購入			東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部
DN 229	人権啓発は企業に どんな力をもたらすのか [解説・チェックシート付]	主な対象:企業に働く人 企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。そこで、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事にかかわっていくことが企業にどんな力をもたらすかということを、ドラマ形式で事例を取り上げながら考えることができる作品です。	職場の人権	
	25 分間	字幕・副音声:○		2017 年企画・制作
	2023 年購入			東映株式会社 教育映像部
DN 230	あなたの笑顔が くれたもの ～周りから見えにくい 障害・生きづらさ～	主な対象:中学生以上・一般 「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかし、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚など近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。 主人公の麻友子は、発達障がいである幼馴染の紗希、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生 美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさをかかえている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。外見で決めつけたり、「障がい者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学ぶことができます。	発達障がい オストメイト (人工肛門保有者) ヤングケアラー	
	37 分間	字幕・副音声:○		2022 年企画・製作
	2023 年購入			東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部
DN 231	知りたいあなたのこと3 きこえない人の 生活・気持ち	主な対象:中学生以上・一般 私たちは、「音のない世界」を一体どこまで想像できているのでしょうか?耳の聞こえない・聞こえにくい方々は、人知れず、不安や困りごとをかかえながら生活を送っています。ですが、彼らに障がいがあることが周囲から分かりにくいいため、困っていても周囲にはなかなか伝わりません。この作品は、1人の難聴の方を中心に取材をし、一体どんな場面で困っているのか?を伝えます。また、周囲の人にどんな配慮が求められているのか?を伝え、一緒に考えていく作品です。	耳の 聞こえない方 聞こえにくい方	
	21 分間	多言語対応版		2022 年企画・製作
	2023 年購入			斉藤プロダクション

No.	題名 上映時間	内容	主な人権課題
DN 232	バースデイ	<p>主な対象：中学生以上・一般</p> <p>性的少数者については、社会理解が進みにくく、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の重みや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。</p> <p>性の在り方は多様で一人一人の人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気付くことが大切です。</p> <p>多様性を認め、互いの人権を尊重することは、全ての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。</p>	性的少数者
		37 分間 字幕・副音声：○ 2023 年購入	
DN 233	いじめ ～それぞれの思い それぞれの言い分～	<p>主な対象：中学生以上</p> <p>近年、正義感ゆえの言動がはじめに発展してしまう事例が増えているといわれています。「ウザいから」「みんなと違うから」といった短絡的な理由ではなく、相手の非を許すことができず、対話がないまま制裁的にいじめをしてしまうという構造です。このようないじめを防ぐためには、自分の目に見えていることが全てではなく、相手には相手の事情があることを理解する「想像力」が大切です。一見、非があるあるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がはじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起しています。また「晒し」や「ステメいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。</p>	いじめ
		23 分間 字幕：○ 2023 年購入	
DN 234	ええことするのは、 ええもんや！	<p>主な対象：小学生</p> <p>「ええこと」するのって、感心されたり、褒められたりするため？ 学校からの帰り道。マナブは車椅子に乗って動けなくなっているおっちゃんを押してあげることになり、道行く人に褒められ得意げになります。でも、誰にも会わなくなってからは、「何でこんなことしてるんやろ？」という気持ちが沸き上がり…。原作は、主人公のマナブの行動や心の葛藤を通して、何のために「ええこと」をするのか？ボランティアの本質について子どもたちに考えるきっかけを与える優れた物語です。「相手を思いやる心とは？」「ボランティアって誰のためにするの？」「友情って何だろう？」そのようなことを子どもたちが考え、話し合うための教材としてご活用ください。</p>	ボランティア
		14 分間 字幕：○ 2023 年購入	
DN 235	うみとりくの からだのはなし	<p>主な対象：幼児・小学生・中学生など</p> <p>ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。 りくはお母さんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。 そんな二人と一緒に、みんながそれぞれのからだを大切にするためには、どうしたらよいか考えるアニメーション教材。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の体にだれがどんなふうに触れるかは、自分で決められること。 ●相手の体に触れるときは、同意が必要なこと。 ●触るのも見るのも自分だけの、とくべつ大事な場所、プライベートパーツとは？ ●プライベートパーツに触られそうになったら？触られてしまったら？ <p>大事なことだけれど、なかなか話しあうのが難しいからだの話や、かわいらしい双子と一緒に、やさしいシンプルなことばで考えます。</p> <p>性犯罪から身を守ることも、相手の体を尊重する態度を育みます。</p>	性教育 プライベート パーツ
		16 分間 字幕：○ 2023 年購入	

No.	題名 上映時間	内容	主な人権課題
DN 236	<p>ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見 アンコンシャス・バイアス 職場のコミュニケーション 向上のヒント</p>	<p>主な対象：一般・企業など</p> <p>「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分事として考えることができる内容です。自覚なく、ハラスメントの加害者にならないために。コミュニケーションを見直すきっかけとなります。</p>	無意識の偏見 アンコンシャス・バイアス
	24 分間	2023 年企画・製作	
	字幕・副音声：○ 2023 年購入	東映株式会社	